

御前崎小学校 海洋体験学習 2回目

平成 29 年 09 月 17 日

- 日 付：平成 29 年 9 月 13 日（水）
- 時 間：8：30～12：00
- 場 所：マリパーク御前崎
- 参加者：御前崎小学校 4 年生（児童 39 名、教員 3 名 計 42 名）
- スタッフ：増田、松下、川口

御前崎小学校 4 年生を対象とした、2 回目の海洋体験学習を行いました。御前崎小学校は、5 年生で学校独自に行うウミガメの学習につなげるよう、4 年生を対象に総合学習の一環として『海を感じ、海を学ぶ』というテーマの基、年度内で 2 回の活動を行います。



2 回目となる今回の活動では、『海を学ぶ』ことを目的に、実際に御前崎の海岸を歩き、御前崎の海が抱える現状と課題について学びました。

また今回の活動に、静岡県総合教育課の方が、活動の見学、取材に来てくださいました。

御前崎海岸に集まった子ども達は、ガイダンスを終え、さっそく海岸へ移動。海の観察をした後、漂着物観察の活動を行いました。



漂着物を観察するにあたり、子ども達には『海の植物』・『海の動物』・『陸の自然物』・『人工物』の 4 種類を、それぞれ 3 個ずつ集めてもらう作業から開始。その後、集めたものを種類ずつ見ていきました。そして、それぞれが何故この海にあるのか？何故海藻や海の動物が少ないのか？と言うことに着目をして、後半の活動の切っ掛けづくりを行いました。



漂着物を観察した後は、ビーチクリーンを行いながら、海の様子を一人一人観察し、考えてもらいました。15分ほどの短い時間でしたが、とても多くのゴミを拾うことができました。

ゴミを回収車に乗せ、休憩をとった後は、海・海岸を観察しながら、次のポイントまでゆっくり歩き進めます。



二つ目のポイントでは、漂着ゴミや流木などを運んでくる『波と風』について、説明を行いました。そして、波や風がどのような影響を及ぼしているのか、子ども達と一緒に考えました。



三つ目のポイントでは、海岸の様子の変化についての問い掛けから開始しました。ここまでの道中で、徐々に砂浜が減少していく様子を見てきた子ども達。どうして砂浜が減ってしまうのか？昔の写真などと比較をしながら考え、砂浜が減少することで人間に及ぼす影響、そして、来年度子ども達が飼育するウミガメへの影響を考えました。



次のポイントに向かう道中では、数年前に様々な自然の力によって道路が崩落した場所を確認しました。自然が持つ力のすごさに、子ども達もびっくりした様子でした。

四つ目のポイントでは、海藻などが何故少ないのか？を改めて問い掛け、道中、見つけることができたかを問いかけ、海の中で起こっている現状について説明を行いました。御前崎の海岸でも進んでいる磯焼け。それが続くと、どのようになってしまうか。人間への影響は？ウミガメへの影響は？子ども達に問い掛けを行いながら、説明を行いました。



最後のポイントでは、これまで見て学んできたことのおさらいを行い、自分たちの生活を守っていくためにできる自然への配慮は何か？ウミガメなど生きものを守っていくためにできる自然への配慮は何か？子ども達と一緒に考えました。

2回の海洋体験学習を終え、海の楽しさ、面白さ、不思議さを感じ、海岸を実際に観察しながら歩くことで海の現状を知ってもらい、その海をどうしたら守っていくことができるのか。体験を通して、子ども達なりに考え、学ぶことのできる活動を行うことができました。

